

ニュージーランド派遣を終えて

湧別高校2年 木村 悠生

私は今回のニュージーランド派遣で、正しい英語の発音や話をする時のしぐさ、ニュージーランドに生息している植物や動物、文化の違い、マオリの以上4つを学ぶことを目的にしていました。他にも派遣の目的とは別で個人的にミドルネームをつけてもらいたいとも思っていました。

まず1つ目の目的である正しい英語の発音や話をする時のしぐさのことなのですが、ホストファミリーと最初に会話をした時に相手の英語がとても早くてほとんど聞き取れませんでした。なので初日はGoogle翻訳を使用してコミュニケーションをとるような形になってしまいました。しかし2日目からはだんだんと耳が慣れてきて、なんとなく話していることがわかるようになっていきました。そこで私は聞き取れさえすればある程度の質問に回答できるということに気づき、少し驚いたのと同時に事前研修などのこれまでの英語の学習が生きて来ていると感じました。発音などは早すぎてよくわかりませんでした、しぐさや相槌などはしっかりとみて学ぶことができました。

次に2つ目の目的にあるニュージーランドに生息している植物、動物についてです。動物は14日にウィローバンク野生動物保護区に行ったのでたくさん見ることができました。植物についてはあまりに日本と違いがないように感じました。

次に3つ目の文化の違いについてです。私は生活面で特に文化の違いを感じるが多かったです。例えばお風呂の際は浴槽に浸かるのではなくシャワーだけで済ませることだったり、家の中では靴を履いたままでも脱いでもいいことなどです。他にも衛生面が日本とはまったく異なっており、公共のトイレがとても汚かったり、腐ったフルーツなどが普通に学校の棚などに置いてあるところを見てとても驚きました。

次に4つ目のマオリについてです。ダーフィールドハイスクールに登校した初日に複数人の生徒からマオリ式の歓迎の歌を披露していただきその歌がとてもうまくてびっくりしました。他にも授業としてマオリの言葉をレクリエーションのような物を通して教えていただいたのですが、そのレク一つ一つがおもしろくとても楽しく学ぶことができました。その授業でひとつ大変なことがあり、マオリ語を教えてくださいと先生がもちろん英語で説明して下さるのでマオリ語、英語、日本語の順番で翻訳しなければいけなかったことがとても大変でした。マオリ語自体は日本語に発音が似ているような気がして割と話しやすかったです。

最後に私のミドルネームについてお話しします。私は派遣に行く前からずっとミドルネームというのがかっこよくて憧れていました。しかし日本語だとあまりかっこよくないと思っていたので、せっかくなので私がもう一人の両親のように思っているホストファミリーに名付けてもらおうと考え実際に名付けていただきました。私のミドルネームはGleen-Hagdenです。ミドルネームにもルールがあり亡くなった先祖の名前などをもらうという

ことで私はママのお爺ちゃんの名前とホストブラザーである **Hagden** の名前をいただきました。

今回の派遣学習で私はとても視野が広がりました。他にもメンタル面も強くなったような気がしました。今後はこの貴重な経験を活かして英語検定に挑戦したり、いずれ海外に旅行に行ったりしようと思っています。